

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX L30

クールピクス L30

活用ガイド



Jp

はじめに

各部の名称

撮影の準備をしよう

カメラを使ってみよう

いろいろな撮影

メニューを使う

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

詳細編

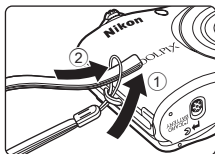
付録、索引

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX L30をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□vii～xiv)をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

ストラップの取り付け方








本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備をしよう」(□6) および「カメラを使ってみよう」(□12) をご覧ください。

また、カメラ各部の名称や液晶モニターの表示については、「各部の名称」(□1) をご覧ください。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。  は「詳細編」、  は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、ケーブルなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- ・他社製品や模倣品と組み合わせると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、セットアップメニューの【オープニング画面】（□□24、●●60）の【撮影した画像】も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。




VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。




この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

-  △記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと



すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと



すぐに修理依頼を

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害の原因になります。
撮影時には、1 m以上離れてください。
特に乳幼児の撮影には注意してください。

**保管注意**

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

**保管注意**

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。

**警告**

指定の電源(電池、ACアダプター)を使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

**禁止**

通電中のカメラに長時間直接触れない
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になる
ことがあります。

**使用禁止**

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

**注意** (カメラについて)**感電注意**

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

**保管注意**

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。

**保管注意**

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあ
たらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

**移動注意**

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶついたりしてケガの原因になることがあります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする
飛行中は無線通信機能を使わない
病院では、病院の指示に従う

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り外してください。



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池やACアダプター)を外すこと
電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。

ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。



プラグを抜く



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

故障や火災の原因になることがあります。



危険 (アルカリ電池、リチウム電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、
医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

警告 (アルカリ電池、リチウム電池について)



警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



警告

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

充電機以外は充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな
水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告 (アルカリ電池について)



警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険 (ニッケル水素充電機について)



使用禁止

リチャージャブルバッテリー EN-MH2 は、COOLPIX用Ni-MH 電池を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電機でCOOLPIX L30に対応しています
EN-MH2 に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用のチャージャーを使用して2本セットで同時に充電すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



禁止

新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておく、目に傷害を与える原因となります。



警告 (ニッケル水素充電電池について)



警告

外装チューブを外したり、傷をつけないこと
また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、破裂、発火の原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

はじめに



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておく、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



注意 (ニッケル水素充電池について)



注意


電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

目次

はじめに	ii	いろいろな撮影	20
はじめにお読みください	ii	撮影モードを変える	20
ストラップの取り付け方	iii	動画を撮影、再生する	22
本書について	iii		
ご確認ください	v		
安全上のご注意	vii		
		メニューを使う	24
各部の名称	1	テレビ、パソコン、プリンターとの	
カメラ本体	1	接続	26
液晶モニターの表示内容	3	カメラとの接続方法	26
撮影モード	3	ViewNX 2 を使う	28
再生モード	5	ViewNX 2 をインストールする	28
		パソコンに画像を取り込む	29
		画像を見る	31
撮影の準備をしよう	6		
電池と SD カードを入れる	6		
使用できる電池について	6		
電池や SD カードを取り出すときは... ..	7		
内蔵メモリーと SD カードについて... ..	7		
電源を ON にして、表示言語と日時を			
設定する	8		
カメラを使ってみよう	12		
らくらくオートで撮影する	12		
ズームを使う	14		
シャッターボタンの半押しと全押し	14		
画像を再生する	16		
画像を削除する	17		
フラッシュやセルフタイマーなどを使う	19		

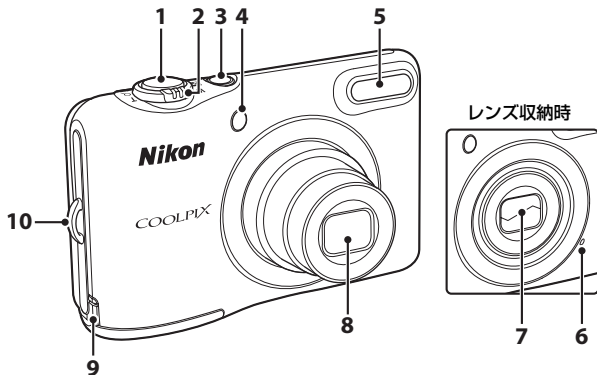
詳細編	001	画像の編集 (静止画)	025
📷 (らくらくオート撮影) モード...	003	画像編集の前に	025
シーンモード (シーンに合わせて 撮影する)	004	D-ライティング (画像の暗い 部分を明るく補正する)	026
ヒントとご注意	005	メイクアップ効果 (人物の顔をきれいに見せる) ...	027
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する)	008	スモールピクチャー (画像サイズを小さくする)	029
📷 (オート撮影) モード	010	トリミング (画像の一部を切り抜く)	030
マルチセクターで設定できる機能...	011	テレビとの接続	
フラッシュを使う	011	(テレビ画面での再生)	031
セルフタイマーを使う	014	プリンターとの接続	
マクロ (接写) モードを使う ...	015	(ダイレクトプリント)	032
明るさを調整する (露出補正) ...	016	カメラとプリンターを接続する...	032
初期設定一覧	017	1 コマずつプリントする	033
組み合わせて使えない機能	019	複数の画像をプリントする	035
ピント合わせについて	020	動画を撮影する	038
顔認識撮影について	020	動画を再生する	040
美肌機能について	021	撮影メニューの種類	042
オートフォーカスが苦手な被写体...	021		
フォーカスロック撮影	022		
拡大表示	023		
サムネイル表示 / カレンダー表示...	024		

撮影メニュー	セットアップメニュー.....	0060
（  （オート撮影）モード）.....	オープニング画面.....	0060
画像モード	地域と日時.....	0061
（画像サイズ / 画質）.....	モニター設定.....	0063
ホワイトバランス	デート写し込み	
（色合いの調整）.....	（日付の写し込み）.....	0065
連写.....	手ブレ軽減.....	0066
ピクチャーカラー.....	モーション検知.....	0068
ベストフェイスメニュー.....	AF 補助光.....	0069
美肌効果.....	操作音.....	0069
笑顔自動シャッター.....	オートパワーオフ.....	0070
目つぶり軽減.....	メモリー / カードの初期化	
再生メニュー.....	（フォーマット）.....	0071
プリント指定（プリントする	言語 / Language.....	0071
画像や枚数の設定）.....	ビデオ出力.....	0071
スライドショー.....	目つぶり検出設定.....	0072
プロテクト設定.....	Eye-Fi 送信機能.....	0073
画像回転.....	設定クリア.....	0074
画像コピー（内蔵メモリーと	電池設定.....	0074
SD カード間のコピー）.....	バージョン情報.....	0075
動画メニュー.....	警告メッセージ.....	0076
動画設定.....	記録データのファイル名.....	0079
AF モード.....	別売アクセサリ.....	0080

付録、索引.....	🔍1
取り扱い上のご注意.....	🔍2
カメラについて.....	🔍2
電池について.....	🔍3
メモリーカードについて.....	🔍5
お手入れ方法.....	🔍6
クリーニングについて.....	🔍6
保管について.....	🔍7
故障かな?と思ったら.....	🔍8
主な仕様.....	🔍15
推奨 SD カード.....	🔍18
索引.....	🔍20
ニコンプラザ、サービスセンターの ご案内.....	🔍26
アフターサービスについて.....	🔍27

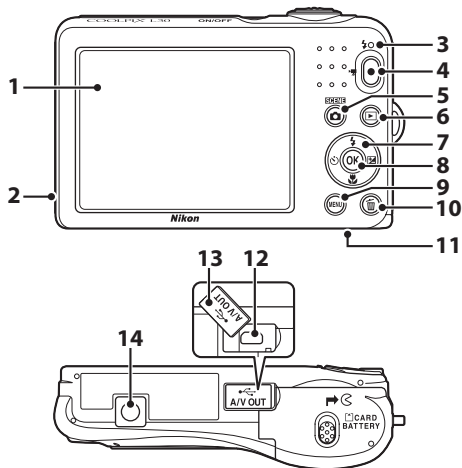
各部の名称

カメラ本体



1	シャッターボタン.....	13
2	ズームレバー.....	14
	W : 広角ズーム.....	14
	T : 望遠ズーム.....	14
	☒ : サムネイル表示.....	16、📷24
	Q : 拡大.....	16、📷23
?	ヘルプ.....	📷4
3	電源スイッチ/電源ランプ.....	8
4	セルフタイマーランプ.....	📷14
	AF補助光.....	📷69

5	フラッシュ.....	19、📷11
6	マイク.....	📷38
7	レンズバリアー.....	
8	レンズ.....	
9	パワーコネクターカバー (別売ACアダプター接続用).....	📷80
10	ストラップ取り付け部.....	iii



1	液晶モニター	3
2	スピーカー	40
3	フラッシュランプ	13
4	● (動画撮影) ボタン	22、38
5	📷 (撮影モード) ボタン	20、3、4、8、10
6	▶ (再生) ボタン	16
7	マルチセレクター	24

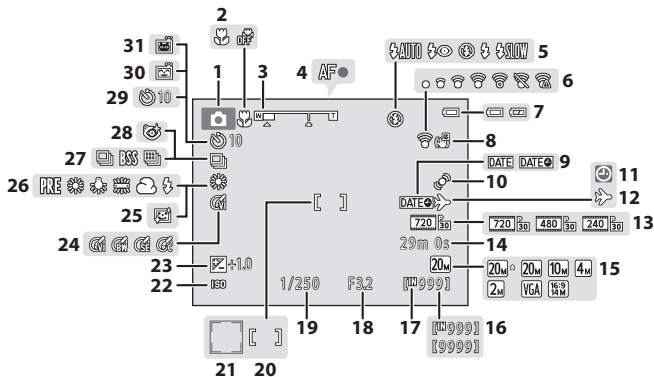
8	OK (決定) ボタン	24
9	MENU (メニュー) ボタン	24
10	🗑️ (削除) ボタン	17
11	電池/SDカードカバー	6
12	USB/オーディオビデオ出力端子	26
13	端子カバー	26
14	三脚ネジ穴	17

液晶モニター の表示内容

表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

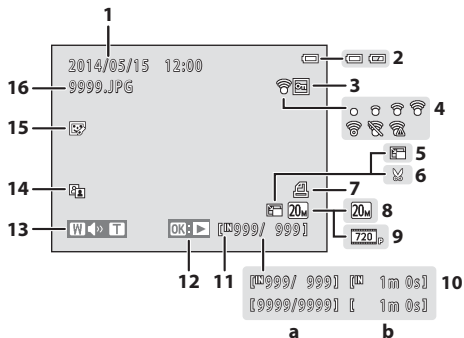
初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（セットアップメニューの [モニター設定] (📄24、🔊63) → [モニター表示設定] → [情報オート] 時)。

撮影モード



1	撮影モード	20	17	内蔵メモリー表示	10
2	マクロモード	19、  15	18	絞り値	14
3	ズーム表示	14、 	19	シャッタースピード	14
4	AF表示	13	20	AFエリア	13
5	フラッシュモード	19、 	21	AFエリア (顔認識時、 ペット検出時)	13、  7、  8
6	Eye-Fi通信表示	 73	22	ISO感度表示	 12
7	電池残量表示	10	23	露出補正值	19、  16
8	手ブレ軽減表示	 66	24	ピクチャーカラー	 48
9	デート写し込み	 65	25	美肌効果	 49
10	モーション検知表示	 68	26	ホワイトバランス	 45
11	日時未設定	8、 	27	連写モード	 7、  47
12	訪問先	 61	28	目つぶり軽減	 50
13	動画設定	 58	29	セルフタイマー	19、  14
14	記録可能時間 (動画)	22、  38	30	笑顔自動シャッター	 49
15	画像モード	 43	31	ペット自動シャッター	 7
16	記録可能コマ数 (静止画)	10			

再生モード



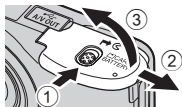
1	撮影日時	8
2	電池残量表示	10
3	プロテクト表示	54
4	Eye-Fi通信表示	73
5	スモールピクチャー	29
6	トリミング済み表示	23、30
7	プリント指定表示	51
8	画像モード	43
9	動画設定	22、58
10	(a) 画像の番号/全画像数 (b) 動画の再生時間	
11	内蔵メモリ表示	7
12	動画再生ガイド	22、54
13	音量表示	40
14	D-ライティング済み表示	26
15	メイクアップ効果済み表示	27
16	ファイル名	79

撮影の準備をしよう

電池とSDカードを入れる

1 電池/SDカードカバーを開ける

- 電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

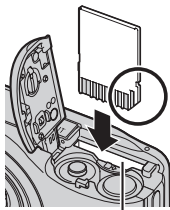
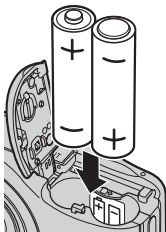


2 電池とSDカードを入れる

- 電池の+と-を正しい向きで入れてください。
- SDカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込んでください。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。



SD カードスロット

3 電池/SDカードカバーを閉じる

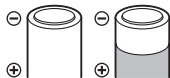


使用できる電池について

- アルカリ単3形電池 (LR6) (付属の電池) × 2本
- リチウム単3形電池 (FR6/L91) × 2本
- Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 (ニッケル水素充電電池) × 2本

✓ 電池についてのご注意

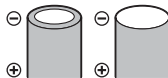
- ・新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- ・以下のような電池は使用しないでください。



外装シールの一部またはすべてがはがれている電池



マイナス電極の一部が突き出ている、外装シールが側面にしかない電池



マイナス電極が平らな電池

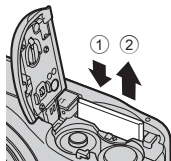
✓ SDカードの初期化について

他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。カードをカメラに入れ、MENU ボタンを押し、セットアップメニューの [カードの初期化] (□24、🔗71) を選びます。

電池やSDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く押し込むと (①)、SDカードが押し出されます (②)。



✓ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリーまたはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

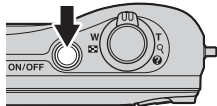
電源をONにして、表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

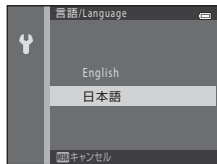
- ・ 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で📷が点滅します。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

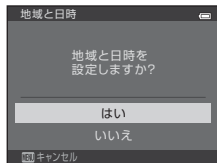
- ・ 電源がONになると、液晶モニターが点灯します。
- ・ もう一度、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



2 マルチセレクターの ▲▼ で表示言語を選び、OK ボタンを押す



3 ▲▼で [はい] を選び、OK ボタンを押す



4 ◀▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、OKボタンを押す

- ・ 夏時間をオンにするには、▲を押します（地図の上部に☀マークが表示されます）。
▼を押すとオフになります。



5 ▲▼で日付の表示順を選び、OKボタンを押す

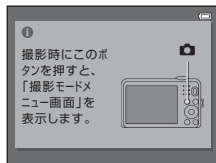
6 日時を合わせ、OKボタンを押す

- ・ ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- ・ [分] を選んでOKボタンを押し、設定を確認します。



7 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、OKボタンを押す


8 📷（撮影モード）ボタンを押す



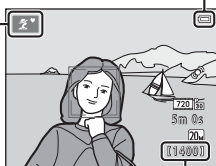
9 ▲▼で [らくらくオート撮影] を選び、OK ボタンを押す



電池残量表示

- 撮影画面になり、らくらくオート撮影モードで撮影できます。
- 撮影画面で電池残量と記録可能コマ数を確認できます。
 - 電池残量表示
 - ☐：電池残量はあります。
 - ☐：電池残量が少なくなりました。電池交換の準備をしてください。
 - 記録可能コマ数
 - 撮影できるコマ数が表示されます。SDカードをカメラに入れていないときは、が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

撮影モードアイコン



撮影画面

記録可能コマ数

オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約 30 秒続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニューの [オートパワーオフ] (□□24、👁️70) で変更できます。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
 - 電源スイッチ、シャッターボタン、📷 (撮影モード) ボタン、▶ (再生) ボタン、または ● (🎬動画撮影) ボタン

言語や日時の設定をやり直すときは

- ⚡セットアップメニュー (□□24) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- ⚡セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] でマルチセクターの▶を押し、▲で夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、▼でオフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

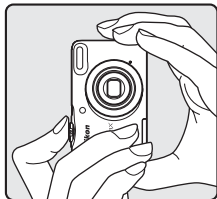
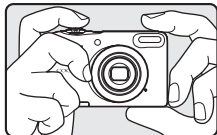
- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「電源をONにして、表示言語と日時を設定する」手順3 (□□8)

カメラを使ってみよう

らくらくオートで撮影する

1 カメラを構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にご覧ください。



2 構図を決める

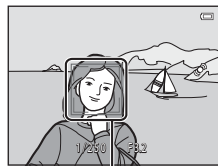
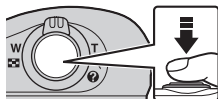
- ズーム位置を変えるには、ズームレバーを動かします (□14)。
- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。

広い範囲を
大きく写す
写す



3 シャッターボタンを半押しする (📖14)

- ピントが合うと、AFエリアが緑色に点灯します。
- 複数のAFエリアが点灯することがあります。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示 (📖3) が緑色に点灯します。
- AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピントが合っていないです。構図を変えて半押しをやり直してください。



AF エリア

4 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する (📖14)

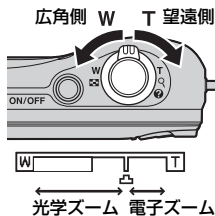


カメラを使ってみよう


ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- ・ 被写体を大きく写す：**T**（望遠）側
 - ・ 広い範囲を写す：**W**（広角）側
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ・ ズームレバーを動かすと、画面上部にズームの量が表示されます。
 - ・ 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



電子ズームと画質の劣化について

電子ズーム使用時は、ズームの量が  マークを超えると画質が劣化します。



シャッターボタンの半押しと全押し

半押し



シャッターボタンを軽く抵抗を感じるころまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。

全押し



シャッターボタンを深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれえます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

✔ らくらくオート撮影モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください（📷4、📷8、📷10）。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。

✔ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

📷 三脚の使用について

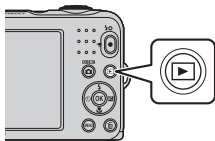
以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

- 暗い場所で撮影するとき
- フラッシュモード（📷12）を📷（発光禁止）にして撮影するとき
- 望遠側で撮影するとき

画像を再生する

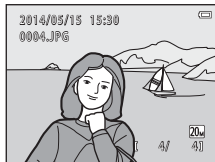
1 再生ボタンを押して、再生モードにする

- 電源OFFの状態では再生ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターの▲▼◀▶で前後の画像を表示する

- 撮影に戻るには、撮影ボタンまたはシャッターボタンを押します。

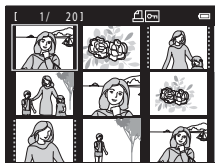


1コマ表示

- 1コマ表示でズームレバーをT (Q) 側に動かすと、拡大表示されます (図23)。

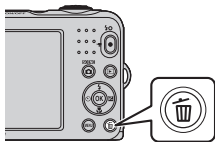


- 1コマ表示でズームレバーをW (Z) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります (図24)。



画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して、**🗑** (削除) ボタンを押す



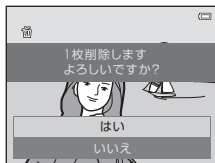
- 2 マルチセレクターの▲▼で [表示画像] を選び、**Ⓞ** ボタンを押す

- [表示画像] : 表示している1コマを削除します。
- [削除画像選択] : 複数の画像を選んで削除します (P.18)。
- [全画像] : すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、**Ⓞ** ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセクターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で👉を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して👉を非表示にします。
- ズームレバー（□1）をT（Q）側に動かすと1コマ表示に、W（☒）側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに👉を表示し、Ⓚボタンを押して選択を決定する

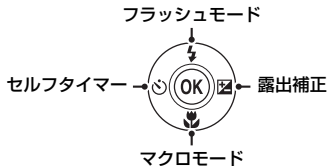
- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

📎 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで👉ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

フラッシュやセルフタイマーなどを使う

フラッシュやセルフタイマーなど、よく使う機能をマルチセクターで設定できます。撮影画面で▲▼◀▶を押すと、以下の機能を設定できます。







- **フラッシュモード (0011)**
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- **セルフタイマー (0014)**
[ON] に設定すると、シャッターボタンを押してから10秒後にシャッターをきります。
- **マクロモード (0015)**
被写体に近づいて撮影するときを設定します。
- **露出補正 (0016)**
画像全体の明るさを調整できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

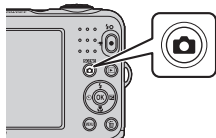
いろいろな撮影

撮影モードを変える

以下の撮影モードがあります。

-  らくらくオート撮影 (03)
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
-  シーン (04)
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
-  ベストフェイス (08)
カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます (笑顔自動シャッター)。
美肌機能で人物の肌 (顔) をなめらかにできます。
-  オート撮影 (10)
基本的な撮影ができます。
また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

1 撮影画面で (撮影モード) ボタンを押す



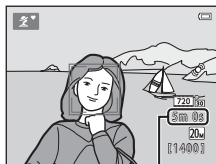
- 2 マルチセレクターの ▲▼ で撮影モードを選び、
OK ボタンを押す



動画を撮影、再生する

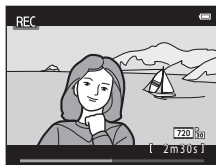
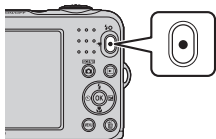
1 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 ● (📹 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する



3 もう一度● (📹 動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、OKボタンを押す

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。
- 「動画を撮影する」(👁️38)
- 「動画を再生する」(👁️40)



動画設定

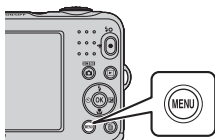
メニューを使う

メニューの操作には、マルチセレクターとMENUボタンを使います。
以下のメニューがあります。

- **📷 撮影メニュー (0042)**
撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
画像サイズと画質の組み合わせや、連続撮影の設定などを変更できます。
- **▶ 再生メニュー (0051)**
1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと設定できます。
画像の編集や、スライドショーの再生などができます。
- **🎞️ 動画メニュー (0058)**
撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
動画撮影についての設定ができます。
- **🔧 セットアップメニュー (0060)**
日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

1 MENU (メニュー) ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの◀を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニューアイコン

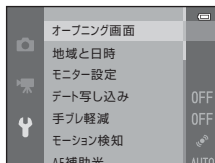
3 ▲▼でメニューアイコンを選ぶ

- メニューが切り換わります。



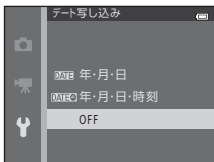
4 OKボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



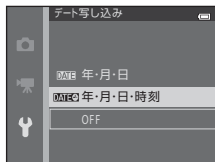
5 ▲▼でメニュー項目を選び、OKボタンを押す



- 選んだメニュー項目の設定内容が表示されます。



6 ▲▼で設定内容を選び、OKボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

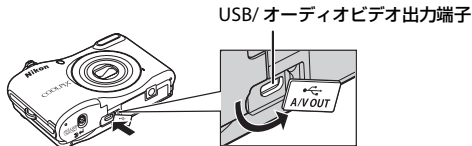


- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタン、 (撮影モード) ボタンまたは  (動画撮影) ボタンを押してください。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

カメラとの接続方法

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



プラグをまっすぐ差し込む 端子カバーを開ける

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-65Aを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-65A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

031



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：オーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP14の映像プラグと音声プラグをテレビの外部入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

028



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：USBケーブル UC-E16をパソコンのUSB端子に接続します。
・パソコンと接続する前に、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください（□28）。

パソコンを使わずにプリントする

032



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：USBケーブル UC-E16をプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフトウェアです。

ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2のインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。

ViewNX 2の最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

-
- 1 パソコンを起動して、下記のアドレスからViewNX 2のインストーラーをダウンロードする

<http://nikonimglib.com/nvnx/>

-
- 2 ダウンロードしたインストーラーのファイルをダブルクリックする

-
- 3 画面の指示に従ってインストールする

-
- 4 インストールを終了する

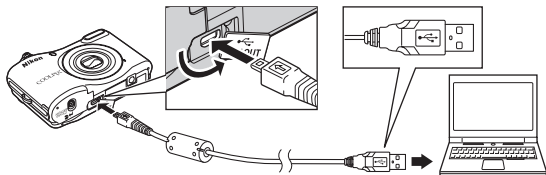
- ・ Windows : [はい] をクリックします。
- ・ Mac : [OK] をクリックします。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する


SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込み。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする。
- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。



内蔵メモリーの画像をパソコンに取り込むには

以下のいずれかの方法で行います。

- 再生メニューの [画像コピー] (□□24、57) で、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーしてから、SDカードの画像をパソコンに取り込む。
- カメラにSDカードを入れずに、カメラをパソコンに接続する。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選び画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

• Windows 7 をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順で Nikon Transfer 2 を選びます。

- 1 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2 使用」を選んで、「OK」をクリックする
- 2 「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする



SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2 の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2 が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証していません。

2 画像をパソコンに取り込む

- 「転送開始」ボタンをクリックします。



【転送開始】

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

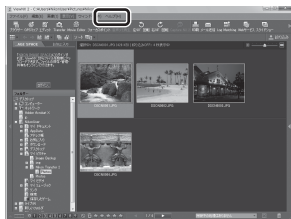
3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USB ケーブルを抜きます。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。



ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows: デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac: Dock の [ViewNX 2] アイコンをクリックします。












A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.








詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。



撮影

 (らくらくオート撮影) モード	 3
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	 4
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する)	 8
 (オート撮影) モード	 10
マルチセレクターで設定できる機能	 11
組み合わせて使えない機能	 19
ピント合わせについて	 20







再生

拡大表示	 23
サムネイル表示 / カレンダー表示	 24
画像の編集 (静止画)	 25
テレビとの接続 (テレビ画面での再生)	 31
プリンターとの接続 (ダイレクトプリント)	 32




動画

動画を撮影する.....	 38
動画を再生する.....	 40

メニュー




撮影メニューの種類.....	 42
撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード).....	 43
ベストフェイスメニュー	 49
再生メニュー	 51
動画メニュー	 58
セットアップメニュー	 60

資料

警告メッセージ.....	 76
記録データのファイル名	 79
別売アクセサリ.....	 80

(らくらくオート撮影) モード





構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (らくらくオート撮影) モード
→  ボタン

シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。

	ポートレート
	風景
	夜景ポートレート
	夜景
	クローズアップ
	逆光
	その他の撮影シーン

(らくらくオート撮影) モードで設定できる機能

- ・フラッシュモード (11)
- ・セルフタイマー (14)
- ・露出補正 (16)
- ・らくらくオート撮影メニュー (42)

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン*） → → → シーンを選択する → ボタン

* 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート (初期設定)	風景*2	スポーツ*1 (5)	夜景ポートレート*3 (5)
パーティー*1 (5)	ビーチ*1	雪*1	夕焼け*1、3
トワイライト*2、3	夜景*2、3	クローズアップ*1 (5)	料理*1 (5)
ミュージアム*1 (6)	打ち上げ花火*2、3 (6)	モノクロコピー*1 (6)	逆光*1 (6)
ペット (7)			

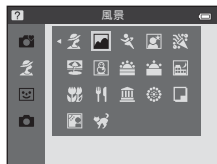
*1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

*2 ピントは遠景に合います。

*3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンの種類を選び、ズームレバー（1）をT（）側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーをT（）側に動かします。



ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約 1.1 コマ / 秒の速さで約 6 コマまで連写できます（[画像モード] が [20M 5152 × 3864] のとき）。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。

🌃 夜景ポートレート

- フラッシュが常に発光します。

🎉 パーティー

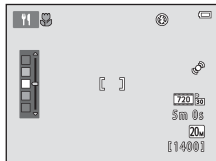
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

🔍 クローズアップ

- マクロモード (🔍15) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。

🍴 料理

- マクロモード (🔍15) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。



ミュージアム

- シャッターボタンを押し続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します (BSS (ベストショットセレクター))。
- フラッシュは発光しません。

打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。

モノクロコピー

- 近くのを撮影するときは、マクロモード (15) を併用してください。

逆光

- フラッシュが常に発光します。

🐾 ペット

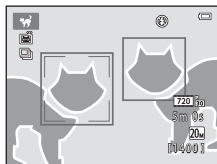
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、[単写] または [連写] を選びます。
 - [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1コマ撮影します。
 - [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの◀ (☺) を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - [📷]：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - [OFF]：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[OFF] のときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。[連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター（👁️49））。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする → 📷（撮影モード）ボタン → 😊 ベストフェイスモード → 📷 ボタン

1 構図を決める

- ・ 人物の顔にカメラを向けてください。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- ・ カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- ・ 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

3 自動撮影を終了する

- ・ 以下のいずれかの操作で終了します。
 - [笑顔自動シャッター] を [OFF] にする
 - 📷 ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

✔ ベストフェイスモードについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（👁️20）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

📷 セルフタイマーランプの点滅について




笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅しなくなります。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- フラッシュモード (📷11)
- セルフタイマー (📷14)
- 露出補正 (📷16)
- ベストフェイスメニュー (📷42)






(オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。


撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。


(オート撮影) モードで設定できる機能


- フラッシュモード (11)
- セルフタイマー (14)
- マクロ (15)
- 露出補正 (16)
- 撮影メニュー (42)

マルチセレクターで設定できる機能



設定できる機能は、撮影モードによって異なります（17）。


フラッシュを使う

（オート撮影）モードなどでは、フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲（）を押す



2 フラッシュモード（12）を選び、 ボタンを押す

-  ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- ・ 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (👁️13)。

発光禁止

フラッシュは発光しません。

- ・ 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

SLOW スローシンクロ

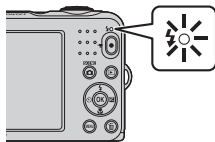
夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュランプについて



シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
- 消灯：発光しません。

電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。



フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（17）。
- （オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されず。

赤目軽減自動発光について

画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。


セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターをきります。

1 マルチセレクターの◀ (⊙) を押す



2 [ON] を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの [ペット] のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます (Ⓔ7)。セルフタイマーは使えません。



3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。



4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは [OFF] になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



セルフタイマーの設定について

撮影モードによっては、設定できないことがあります (Ⓔ17)。

マクロ（接写）モードを使う

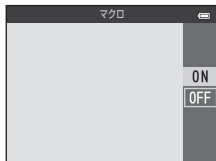
被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マルチセレクターの▼ (👉) を押す



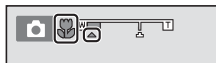
2 [ON] を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを動かし、👉マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約30 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- 📐マークのズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。



✔ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

🔧 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (📷17)。
- 📷 (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを調整できます。

1 マルチセレクターの▶ (⊞) を押す



2 補正值を選び、OK ボタンを押す

- ・ 明るくする：「+」側に設定します。
- ・ 暗くする：「-」側に設定します。
- ・ OK ボタンを押さなくても、補正值が設定されます。



露出補正の設定について

- ・ 撮影モードによっては、設定できないことがあります (📷17)。
- ・ 📷 (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ ( 11)	セルフタイマー ( 14)	マクロ ( 15)	露出補正 ( 16)
 (らくらくオート撮影)	 AUTO※1	OFF	OFF※2	0.0
シーン				
 (ポートレート)	 👤	OFF	OFF※3	0.0
 (風景)	 ※3	OFF	OFF※3	0.0
 (スポーツ)	 ※3	OFF※3	OFF※3	0.0
 (夜景ポートレート)	 👤※4	OFF	OFF※3	0.0
 (パーティー)	 👤※5	OFF	OFF※3	0.0
 (ビーチ)	 AUTO	OFF	OFF※3	0.0
 (雪)	 AUTO	OFF	OFF※3	0.0
 (夕焼け)	 ※3	OFF	OFF※3	0.0
 (トワイライト)	 ※3	OFF	OFF※3	0.0
 (夜景)	 ※3	OFF	OFF※3	0.0
 (クローズアップ)	 👤	OFF	ON※3	0.0
 (料理)	 ※3	OFF	ON※3	0.0
 (ミュージアム)	 ※3	OFF	OFF	0.0
 (打ち上げ花火)	 ※3	OFF※3	OFF※3	0.0※3
 (モノクロコピー)	 👤	OFF	OFF	0.0
 (逆光)	 ※3	OFF	OFF※3	0.0
 (ペット)	 ※3	 ※6	OFF	0.0
 (ベストフェイス)	 AUTO※7	OFF※8	OFF※3	0.0
 (オート撮影)	 AUTO	OFF	OFF	0.0

- ※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。Ⓜ（発光禁止）に変更できます。
- ※2 変更できません。[クローズアップ] に判別されると、自動的にマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
- ※5 赤目軽減スローシンクロに切り換わる場合があります。
- ※6 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター (🐾) のON/OFFを設定できます。
- ※7 [目つぶり軽減] が [ON] のときは使えません。
- ※8 [笑顔自動シャッター] を [OFF] にすると設定できます。

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。





制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (📷47)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (📷50)	[目つぶり軽減] を [ON] にすると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター (📷49)	[笑顔自動シャッター] にすると、セルフタイマーは使えません。
電子ズーム	連写 (📷47)	[マルチ連写] にすると、電子ズームは使えません。
画像モード	連写 (📷47)	[マルチ連写] にすると、[画像モード] は 5 (画像サイズ:2560×1920ピクセル) に固定されます。
ホワイトバランス	ピクチャーカラー (📷48)	[白黒]、[セピア]、または [クール] にすると、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。
連写	セルフタイマー (📷14)	セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。
手ブレ軽減	連写 (📷47)	[単写] 以外にすると、[手ブレ軽減] は作動しません。
モーション検知	フラッシュモード (📷11)	フラッシュが発光するときは、[モーション検知] は作動しません。
	連写 (📷47)	[マルチ連写] にすると、[モーション検知] は作動しません。
シャッター音	連写 (📷47)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。

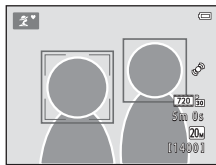
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- （らくらくオート撮影）モード（3）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- シーンモード（4）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード（8）



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。





顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下の場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきけると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード（8）
- （らくらくオート撮影）モード（3）の [ポートレート] または [夜景ポートレート]
- シーンモード（4）の [ポートレート] または [夜景ポートレート]


美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（22）をお試しください。

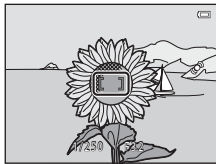
フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

1 (オート撮影) モードにする (10)

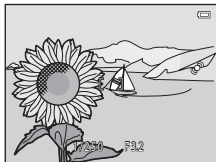
2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

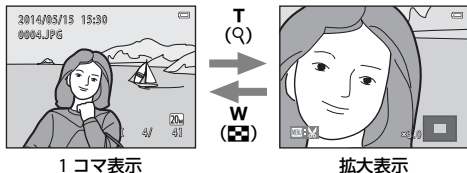


4 シャッターボタンを全押しして撮影する



拡大表示

再生モードの1コマ表示(□16)でズームレバーを**T(Q)**側に動かすと、拡大表示されます。



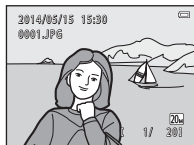
- 拡大率を調節するには、ズームレバー (**W** (🛫) / **T** (Q)) を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します (連写した画像を除く)。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にOKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

拡大表示中に**MENU**ボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (📷30)。

サムネイル表示/カレンダー表示

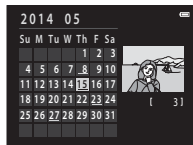
再生モードの1コマ表示 (□16) でズームレバーをW (☒) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



1コマ表示



サムネイル表示



カレンダー表示

- 表示コマ数は、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示でマルチセクターの▲▼◀▶を押して、画像を選びⓧボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で▲▼◀▶を押して、日付を選んでⓧボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2014年1月1日」の画像として扱われます。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。



画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
D-ライティング	メイクアップ効果、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
メイクアップ効果	D-ライティング、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
スモールピクチャー トリミング	追加編集できません。別の編集機能と組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。

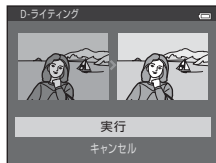
- 編集で作成した画像と同じ種類の編集を繰り返すことはできません。

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ ボタンを押す（再生モード） → 画像を選ぶ → MENU ボタン → D-ライティング → OK ボタン

マルチセレクターの▲▼で【実行】を選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、【キャンセル】を選び、OK ボタンを押します。

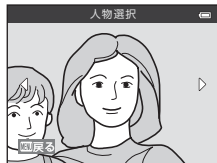


メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → メイクアップ効果
→ OK ボタン

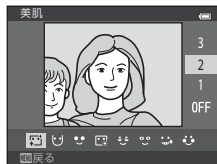
1 マルチセクターの▲▼◀▶で編集する人物を選び、OK ボタンを押す

- ・ 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



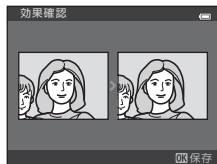
2 ◀▶で効果の種類を、▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- ・ 同時に複数の効果を付けられます。
OK ボタンを押す前に、すべての効果を設定または確認してください。
- ◻ (美肌)、◻ (小顔)、◻ (ビッグアイ)、◻ (肌トーンアップ)、◻ (クマ軽減)、◻ (ホホワイトアイ)、◻ (歯のホホワイトニング)、◻ (チーク)
- ・ 人物の選択画面に戻るには、MENU ボタンを押します。



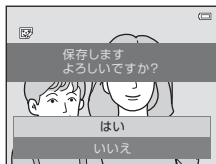
3 効果を確認し、OK ボタンを押す

- ・ 設定をやり直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- ・ 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。



4 「はい」を選び、ⓧボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。



✔ メイクアップ効果についてのご注意

- ・メイクアップ効果で編集できる顔は1人のみです。
- ・顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- ・顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ ボタンを押す(再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → スモールピクチャー
→ ⓧ ボタン

1 マルチセクターの ▲▼ でスモールピクチャーのサイズを選び、ⓧ ボタンを押す

- ・ [設定] **5120×2880** の画像は、[640×360] のみ表示されます。



2 [はい] を選び、ⓧ ボタンを押す

- ・ 編集画像が作成されます（圧縮率約1/16）。



トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（🔍23）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENUボタンを押す


- ・ズームレバーを**T** (🔍) または **W** (📐) 側に動かして拡大率を調節します。📐:🔍が表示される拡大率にしてください。
- ・マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。



3 [はい] を選び、🔍ボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。



 画像サイズについて

トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。

 縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

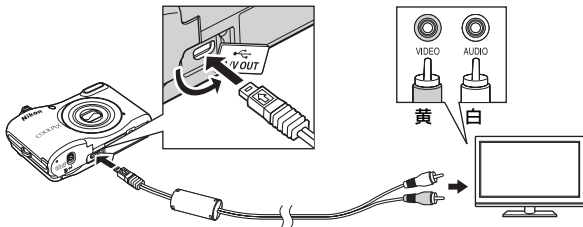
[画像回転] (🔍56) で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

カメラをオーディオビデオケーブル（☞80）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- ・ プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐ引き抜いてください。



2 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- ・ 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの▶ボタンを長押しして電源をONにする

- ・ 画像がテレビに表示されます。
- ・ カメラの液晶モニターは点灯しません。

☑ 画像がテレビに映らないときは

セットアップメニューの [ビデオ出力]（☞71）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

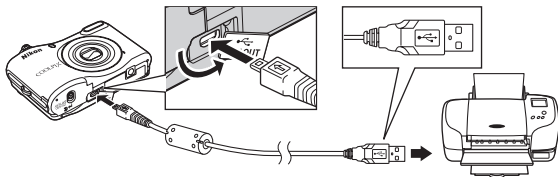
1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- ・ プリンターの設定を確認します。

3 USBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- ・ プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



4 カメラの電源をONにする

- カメラの液晶モニターに [PictBridge] 画面 (①) が表示された後、[プリント画像選択] 画面 (②) が表示されます。



1 コマずつプリントする

1 カメラとプリンターを接続する (6-32)

2 マルチセレクターでプリントする画像を選び、

OK ボタンを押す

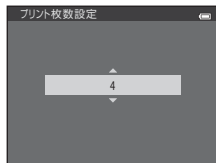
- ズームレバーを **W** (四角) 側に動かすと一覧表示に、**T** (丸) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



3 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、OK ボタンを押す



- 4 プリント枚数（9枚まで）を設定し、**OK** ボタンを押す



- 5 [用紙設定] を選び、**OK** ボタンを押す

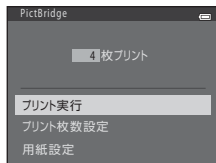


- 6 用紙サイズを選び、**OK** ボタンを押す

- ・ プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- ・ カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。

- 7 [プリント実行] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ プリントが始まります。



- 8 プリントが終了したら、カメラの電源をOFFにしてUSBケーブルを抜く

複数の画像をプリントする

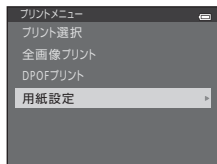
1 カメラとプリンターを接続する (0032)

2 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU ボタンを押す



3 マルチセレクターの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

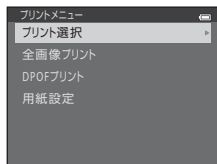
- プリントメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



4 用紙サイズを選び、OK ボタンを押す

- プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。

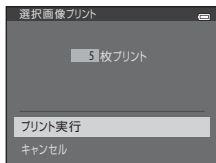
5 [プリント選択]、[全画像プリント] または [DPOFプリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

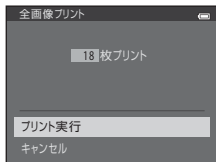
- マルチセレクターの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーをT(Q)側に動かすと1コマ表示に、W(🔍)側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

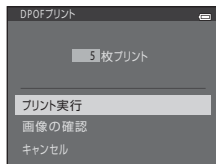
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



DPOFプリント

[**プリント指定**] (📷51) であらかじめ指定しておいた画像をプリントします。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**] を選び、**OK** ボタンを押すと画像のプリントが始まります。[**画像の確認**] を選んで **OK** ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 **OK** ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。



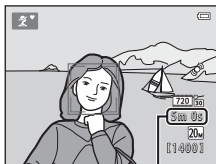
6 プリントが終了したら、カメラの電源をOFFにしてUSBケーブルを抜く

動画を撮影する

- SDカードを入れていないとき(内蔵メモリー使用時)は、[動画設定] (🔗58) は [480^{HD} 30p] になります。[720^{HD} 720/30p] は選べません。

1 撮影画面を表示する

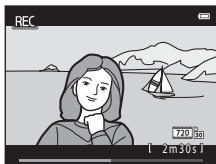
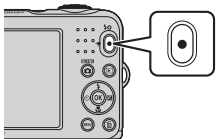
- 記録できる時間を確認します。
- セットアップメニューの [モニター設定] (🔗63) の [モニター表示設定] で [動画枠+情報オート] にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 動画の撮影時は、画角(写る範囲)が静止画に比べて狭くなります。



動画の記録可能時間

2 ● (🔗動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。



3 もう一度● (🔗動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

✓ 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ2GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、SDカードの種類によって異なることがあります。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（🔗18）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（🔗3）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で作ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。
自動終了までの残りの秒数 (🕒10s) が画面に表示されます。
自動終了後、電源がOFFになります。
カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(👁️21) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

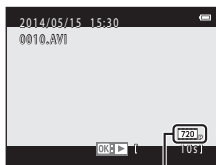
1. 撮影前に動画メニューの【AFモード】を【シングルAF】(初期設定)にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●(🌟動画撮影) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画を再生する

▶ ボタンを押して再生モードにします。

動画設定 (👁️58) のアイコンが表示されている画像が動画です。

Ⓚ ボタンを押すと、再生できます。



動画設定

- 音量を調節するには、再生中にズームレバー (📏1) を動かします。



音量表示

動画再生中の操作

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、

Ⓚ ボタンを押すと以下の操作ができます。

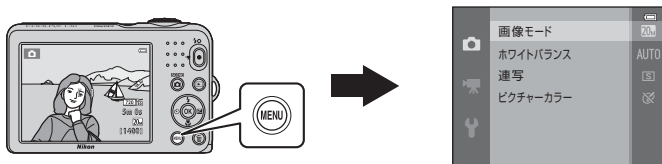
一時停止時



機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀	Ⓚ ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶	Ⓚ ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。	
		◀	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶	再生を再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

撮影メニューの種類

撮影モードでMENUボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。



設定できるメニューは、撮影モードによって、以下のように異なります。

	らくらく オート撮影	シーン	ベストフェイス	オート撮影
画像モード (📷43)	○	○	○	○
ホワイトバランス (📷45)	×	×	×	○
連写 (📷47)	×	×	×	○
ピクチャーカラー (📷48)	×	×	×	○
美肌効果 (📷49)	×	×	○	×
笑顔自動シャッター (📷49)	×	×	○	×
目つぶり軽減 (📷50)	×	×	○	×

撮影メニュー（（オート撮影）モード）


画像モード（画像サイズ/画質）

撮影画面にする → MENU ボタン → 撮影メニュー → 画像モード →  ボタン


記録する画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選びます。画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	圧縮率	アスペクト比（横：縦）
 5152×3864★	約1/4	4：3
 5152×3864（初期設定）	約1/8	4：3
 3648×2736	約1/8	4：3
 2272×1704	約1/8	4：3
 1600×1200	約1/8	4：3
VGA 640×480	約1/8	4：3
 5120×2880	約1/8	16：9

※ 記録データの総画素数（ピクセル）と横×縦の画素数を表しています。

例：  5152×3864：約20メガピクセル＝5152×3864ピクセル

画像モードの設定について

- 画像モードは、（オート撮影）モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます（□10）。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。SDカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

ホワイトバランス（色合いの調整）

📷(オート撮影)モードの撮影画面にする → MENUボタン → ホワイトバランス → ⓧボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

- 通常は【オート】で撮影してください。撮影する画像の色味を変更したい場合は、設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	【オート】や【電球】などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います (🔌46)。
☀️ 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
💡 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
💡 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
☁️ 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⚡ フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

✔️ ホワイトバランスについてのご注意

- 【オート】、【フラッシュ】以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを🔌（発光禁止）に設定してください (🔌11)。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

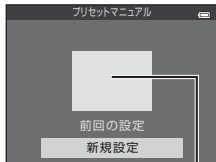
2 マルチセレクターの▲▼で [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ レンズが測定用のズーム位置になります。



3 [新規設定] を選び、用意した被写体を測定窓に収める

- ・ 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] を選んで **OK** ボタンを押します。



測定窓

4 **OK** ボタンを押して測定する

- ・ シャッターがきれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。

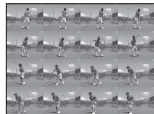
✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

連写

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENUボタン → 連写 → Ⓜ️ ボタン

項目	内容
📷 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
📷 連写	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・ 連写速度は約 1.1 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 6 コマです (画像モード [📷] 5152 × 3864 時)。
BSS BSS (ベストショット セレクター)	シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け (最大10コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。 フラッシュ撮影禁止の場所など、手ブレしやすい状況で静止している被写体を撮影するときに使います。
📷 マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると、16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 ・ 連写速度は約 30 コマ / 秒です。 ・ [画像モード] は [📷] (画像サイズ: 2560 × 1920 ピクセル) に固定されます。 ・ 電子ズームは使えません。



📌 連写についてのご注意

- ・ [単写] 以外にして撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- ・ 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- ・ 他の機能の設定によっては、変更できない場合があります。






マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、液晶モニターにスミア（※3）が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

ピクチャーカラー

 (オート撮影)モードの撮影画面にする → MENUボタン → ピクチャーカラー →  ボタン

記録する画像の色調を変えます。

項目	内容
 標準カラー（初期設定）	自然な色調になります。
 VI ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
 BW 白黒	白黒写真になります。
 SE セビア	セビア色になります。
 C クール	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーについてのご注意

他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

ベストフェイスメニュー

- ・ [画像モード] については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(P.43) をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU ボタン → 美肌効果 → OK ボタン

項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> ON (初期設定)	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し (最大3人)、画像処理で肌 (顔) をなめらかにしてから画像を記録します。
OFF	美肌機能をOFFにします。

撮影画面の被写体では、効果を確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター


ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU ボタン → 笑顔自動シャッター → OK ボタン

カメラが人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。


項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> ON (初期設定)	笑顔自動シャッターを設定します。
OFF	笑顔自動シャッターをOFFにします。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU ボタン → 目つぶり軽減 → OK ボタン

項目	内容
 ON	撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 <ul style="list-style-type: none">目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、[目つぶり検出した画像を記録しました]と数秒間表示されます。フラッシュは使えません。
OFF (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。


再生メニュー

- ・ 画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（25）をご覧ください。


プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

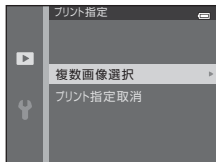
 ボタンを押す（再生モード） → MENU ボタン → プリント指定 →  ボタン

プリント指定をあらかじめ設定しておく、以下の方法でプリントするときに利用できます。

- ・ DPOF (Digital Print Order Format) 対応のプリントサービス店にSDカードを持ち込む。
- ・ DPOF対応のプリンターのカードスロットにSDカードを入れてプリントする。
- ・ PictBridge対応のプリンターにカメラを接続してプリントする（32）。

1 マルチセレクトターの▲▼で [複数画像選択] を選び、 ボタンを押す

- ・ [プリント指定取消] を選んで ボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消すことができます。



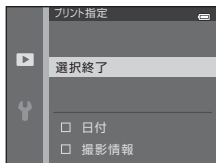
2 プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクトターの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーをT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したら🔘ボタンを押します。



3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- 【日付】を選んで🔘ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- 【撮影情報】を選んで🔘ボタンを押すと、すべての画像にシャッタースピードと絞り値を印字します。
- 最後に【選択終了】を選び、🔘ボタンを押し、設定を有効にします。



☑️ 【プリント指定】の【日付】と【撮影情報】についてのご注意

- プリンターによっては、日付や撮影情報を印字できないことがあります。
- カメラをプリンターに接続したときは、撮影情報は印字されません。
- プリント指定を行った後、【プリント指定】を再表示すると、【日付】と【撮影情報】の設定はリセットされます。
- 日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。
- 【デート写し込み】(📷65) を使って撮影した画像は、【プリント指定】で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントされます。

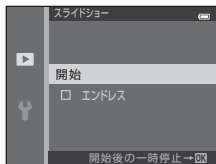
スライドショー

▶ボタンを押す (再生モード) → MENUボタン → スライドショー → OKボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

1 マルチセクターの▲▼で [開始] を選び、OKボタンを押す

- ・ スライドショーが始まります。
- ・ 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んでOKボタンを押します。
- ・ スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- ・ 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。
終了するには、■を選びOKボタンを押します。
再開するには、▶を選びOKボタンを押します。



再生中の操作

- ・ ◀▶でコマ送ります。押し続けると早送ります。
- ・ 一時停止または途中で終了したいときは、OKボタンを押します。

プロテクト設定

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → プロテクト設定 → OK ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面 (🔍55) で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

内蔵メモリー/SDカードを初期化 (フォーマット) (🔍71) すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセクターの◀ ▶で画像を選ぶ

- ・ズームレバー (□1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (E) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・[画像回転]、[オープニング画面]、1コマずつプリントするときの[プリント画像選択]の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



2 ▲▼でON/OFF(またはプリント枚数)を設定する

- ・ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- ・[選択画像コピー] などでは確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

画像回転

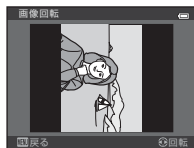
▶ボタンを押す（再生モード）→ MENUボタン → 画像回転 → OKボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（📷55）、画像回転の画面が表示されます。マルチセクターの◀▶を押すと90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

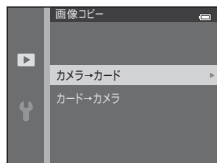
OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → 画像コピー → OK ボタン

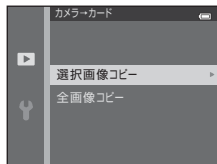
内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

- 1 マルチセクターの▲▼でコピーする方向を選び、OK ボタンを押す



- 2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- ・ [選択画像コピー] を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます (055)。



✔ 画像コピーについてのご注意

- ・ このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- ・ 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。
- ・ [プリント指定] (051) の設定内容はコピーされません。

📎 画像が記録されていないSDカードへのコピーについて

再生モードに切り換えると、[撮影画像がありません] と表示されますが、MENU ボタンを押すと [画像コピー] を選べます。

動画メニュー


動画設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 動画メニューアイコン → 動画設定 → 設定ボタン



撮影する動画の種類を選びます。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします(※18)。


項目 (画像サイズ/フレームレート、記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)
 720/30p (初期設定※)	1280×720	16 : 9
 480/30p	640×480	4 : 3
 240/30p	320×240	4 : 3

※ SDカードを入れていないとき (内蔵メモリー使用時) は、 480/30p になります。

AFモード

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → AFモード →  ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。



項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	● ( 動画撮影) ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF] での撮影をおすすめします。

セットアップメニュー

オープニング画面

MENU ボタン → メニューアイコン → オープニング画面 → ボタン


電源をONにしたときに表示されるオープニング画面の設定をします。

項目	内容
なし (初期設定)	オープニング画面を表示しません。
COOLPIX	COOLPIXのオープニング画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。 <ul style="list-style-type: none">• 画像の選択画面が表示されます。画像を選び ()、 ボタンを押して登録します。• 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。• 縦横比が画面と異なる画像、スモールピクチャーやトリミングで極端にサイズが小さくなった画像などは登録できません。

地域と日時

MENU ボタン → ㄱメニューアイコン → 地域と日時 → ㊄ ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。[分] を選んで ㊄ ボタンを押し、設定を完了します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅（🏠）を設定してから、訪問先（➡）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、㊄ ボタンを押す



2 [🏠 自宅] または [➡ 訪問先] を選び、Ⓞ ボタンを押す

- ・ 自宅か訪問先の日時に切り換わります。

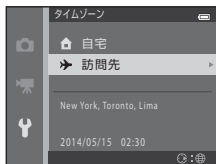
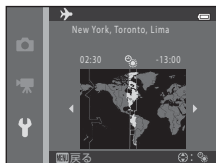


3 ▶を押す



4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ・ ▲を押すと夏時間（サマータイム）になり、🌞が表示されます。解除するには、▼を押します。
- ・ Ⓞ ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- ・ 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。

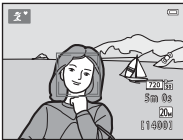
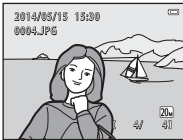




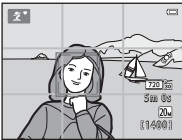
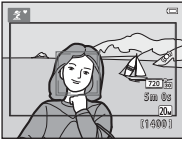
モニター設定

MENU ボタン → Yメニューアイコン → モニター設定 → OK ボタン

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
画面の明るさ	5段階で調節できます。 ・ 初期設定：[3]

[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON	 A camera viewfinder showing a woman's face in the center. The background is a landscape with mountains and a sailboat. Information is overlaid on the right side: a battery level icon, a signal strength icon, a frame rate of 12.5 FPS, a resolution of 50m 40s, a zoom level of 1400%, and a focus mode icon.	 A camera playback screen showing the same woman's face. The background is the same landscape. Information is overlaid at the top: a date and time of 2014/03/15 15:30 and a filename of 0004.JPG. A battery level icon and a playback control icon are at the bottom right.
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると [情報OFF] と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF	 A camera viewfinder showing the same woman's face and landscape background, but with no information overlay.	 A camera playback screen showing the same woman's face and landscape background, but with no information overlay.

	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	【情報オート】と同じです。
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	【情報オート】と同じです。

デート写し込み（日付の写し込み）

MENU ボタン → Ƴメニューアイコン → デート写し込み → OK ボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。日付の印字（📷52）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。





項目	内容
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
DATE 🕒 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。




✔ デート写し込みについてのご注意


- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
 - シーンモードの [ペット]（[連写] 時）
 - 動画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

手ブレ軽減











MENU ボタン →  メニューアイコン → 手ブレ軽減 →  ボタン

静止画を撮影するときの手ブレ軽減を設定します。



項目	内容
 オート	以下の条件になると、静止画の撮影時に手ブレの影響を軽減します。 <ul style="list-style-type: none">・フラッシュモードが  (発光禁止) または  SLOW (スローシンクロ) のとき・シャッタースピードが低速のとき・[連写] の設定が [単写] のとき・被写体が暗いとき
OFF (初期設定)	手ブレを軽減しません。

[オート] に設定すると、撮影画面に  が表示されたときに、撮影状況に応じてカメラが手ブレを軽減します (□3)。




手ブレ軽減についてのご注意

- スローシンクロを除き、フラッシュ使用時は手ブレ軽減は作動しません。赤目軽減スローシンクロ (18) のときも作動しません。
- 露光時間が一定値よりも長時間の場合、手ブレ軽減は作動しません。
- ベストフェイスモードの [目つぶり軽減] (50) が [ON] のときは、手ブレ軽減は作動しません。
- 以下のシーンモードのときは、手ブレ軽減は作動しません。
 - スポーツ (5)
 - 夜景ポートレート (5)
 - トワイライト (4)
 - 夜景 (4)
 - ミュージアム (6)
 - 打ち上げ花火 (6)
 - 逆光 (6)
 - ペット (7) の設定を [連写] にしたとき
- 手ブレが大きい場合、手ブレ軽減の効果が低くなります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

モーション検知

MENU ボタン →  メニューアイコン → モーション検知 →  ボタン



静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
 オート (初期設定)	撮影画面に  が表示される撮影モードや設定で作動します。 カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると  が緑色に変わり、ISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。
OFF	モーション検知をしません。

モーション検知についてのご注意

- 撮影状況によってはブレを軽減できないことがあります。
- 極端にブレしているときや暗すぎるときは、作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。



AF補助光

MENU ボタン → メニューアイコン → AF補助光 → ボタン

オートフォーカスを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	暗い場所などで自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約1.9 m、望遠側で約1.1 mです。 ・ シーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。
OFF	AF補助光は点灯しません。

操作音

MENU ボタン → メニューアイコン → 操作音 → ボタン

項目	内容
設定音	[ON] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 ・ シーンモードの [ペット] では鳴りません。
シャッター音	[ON] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 ・ 連写時や動画撮影時、シーンモードの [ペット] では鳴りません。

オートパワーオフ

MENU ボタン → メニューアイコン → オートパワーオフ → ボタン

カメラが待機状態 (□□11) になるまでの時間を設定します。

項目	内容
オートパワーオフ	[30 秒] (初期設定)、[1 分]、[5 分]、[30 分] から選べます。
スリープモード	[ON] (初期設定) にすると、[オートパワーオフ] で設定している時間内でも、被写体の明るさが変化しない状態が続くと待機状態に入ります。 [オートパワーオフ] が [1 分] 以下のときは30秒で、[5 分] 以上のときは1分で待機状態に入ります。



オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- ・メニュー表示中：3分 (オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- ・オーディオビデオケーブル接続中：30分

メモリー / カードの初期化（フォーマット）

MENU ボタン → ㊄メニューアイコン → メモリーの初期化 / カードの初期化 → Ⓜ️ボタン

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

初期化すると、内蔵メモリー / SDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池 / SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 内蔵メモリーを初期化するには、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に **メモリーの初期化** が表示されます。
- SDカードを初期化するには、SDカードをカメラに入れます。セットアップメニューの項目に **カードの初期化** が表示されます。

言語 / Language

MENU ボタン → ㊄メニューアイコン → 言語 / Language → Ⓜ️ボタン

画面に表示する言語を設定します。

ビデオ出力

MENU ボタン → ㊄メニューアイコン → ビデオ出力 → Ⓜ️ボタン

テレビとの接続に必要な設定を行います。

ビデオの出力方式を **[NTSC]** と **[PAL]** から選びます。

[NTSC] と **[PAL]** はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。

目つぶり検出設定

MENU ボタン → Ƴメニューアイコン → 目つぶり検出設定 → OK ボタン

以下の撮影モードで顔認識撮影（👁️20）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- 📷（らくらくオート撮影）モード
- シーンモード（👁️4）の [ポートレート] または [夜景ポートレート]

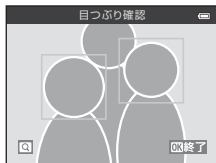
項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性がある場合は、液晶モニターに [目つぶり確認] 画面を表示します。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
OFF（初期設定）	目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

目つぶり検出した顔は、枠で囲まれます。

以下の操作ができます。

- 顔を拡大表示する：ズームレバーを **T** (🔍) 側に動かします。複数の顔を検出したときは、マルチセレクターの ◀ ▶ で顔が切り換わります。
- 1コマ表示に戻る：ズームレバーを **W** (📷) 側に動かします。





OK ボタンを押すか、操作しない状態が数秒経過すると、撮影画面に戻ります。



✔️ 目つぶり検出設定についてのご注意

撮影状況などによっては、適切に目つぶり検出ができないことがあります。

Eye-Fi送信機能

MENU ボタン →  メニューアイコン → Eye-Fi送信機能 →  ボタン


市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうかを設定します。






項目	内容
 有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
 無効（初期設定）	画像を送信しません。

Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- 電波の状態が悪い場合、**[有効]** に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、**Eye-Fiカード**はカメラから取り出してください。設定を**[無効]**にただけでは、電波が発信されることがあります。
- **Eye-Fiカード**の使用方法は**Eye-Fiカードの使用説明書**をご覧ください。**Eye-Fiカード**に関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラには**Eye-Fiカード**の通信機能をON/OFFする機能がありますが、**Eye-Fiカード**の全ての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、**OFF**にしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- **Eye-Fiカード**の送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- **[有効]** にしていると、電池の消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内の**Eye-Fiカード**の通信状態は、画面で確認できます（3、5）。

-  : **[Eye-Fi送信機能]** が **[無効]** に設定されています。
-  (点灯) : 画像の送信を待っています。
-  (点滅) : 画像の送信中です。
-  : 未送信の画像がありません。
-  : エラーが発生しました。**Eye-Fiカード**をコントロールできません。

設定クリアー

MENU ボタン → ȳメニューアイコン → 設定クリアー → OK ボタン

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

・ [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。




ファイル番号の連番をリセットする

内蔵メモリー /SD カード内の画像をすべて削除 (□17) してから [設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

電池設定

MENU ボタン → ȳメニューアイコン → 電池設定 → OK ボタン

電池残量表示 (□10) を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

項目	内容
 アルカリ電池 (初期設定)	アルカリ単3形電池 (LR6)
 COOLPIX (Ni-MH)	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 (ニッケル水素充電電池)
 リチウム電池	リチウム単3形電池 (FR6/L91)




バージョン情報

MENU ボタン → ㄣメニューアイコン → バージョン情報 → OK ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません	SDカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none">動作確認済みのカードを使ってください。カードの端子部分が汚れていないか確認してください。カードが正しく挿入されているか確認してください。	6、  18
カードに異常があります		
このカードは初期化されていません。初期化しますか？	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、 [いいえ] を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 [はい] を選んで  ボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	 5
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	—
	Eye-Fiカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none">カードの端子部分が汚れていないか確認してください。カードが正しく挿入されているか確認してください。	6
メモリー残量がありません	不要な画像を削除するか、SDカードを交換してください。	6、17

表示	考えられる原因や対処法	📖
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	🔗71
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	🔗71
	オープニング画面に登録できない画像です。	🔗60
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	17
この画像は編集できません	編集可能な条件を確認してください。	🔗25、 🔗13
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	🔗39、 🔗18
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。 ・内蔵メモリー内の画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 ・内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーするときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー] を選んでください。	7 🔗57
このファイルは表示できません	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	🔗53
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	🔗54

表示	考えられる原因や対処法	📖
レンズエラー	レンズの作動不良です。 電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	8
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	🔍32
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	6、8
プリンターエラー： プリンターを確認してください	エラーの原因を取り除いた後、 [継続] を選んで 🔍 ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください	指定したサイズの内紙をセットした後、 [継続] を選んで 🔍 ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです	詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] を選んで 🔍 ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません	指定したサイズの内紙をセットした後、 [継続] を選んで 🔍 ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください	インクに異常があります。 インクを確認した後、 [継続] を選んで 🔍 ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません	インクを交換した後、 [継続] を選んで 🔍 ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル] を選び 🔍 ボタンを押し、プリントを中止してください。	—

* プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子

(カメラの画面には表示されません)

編集していない静止画および動画	DSCN
スモールピクチャー画像	SSCN
トリミング画像	RSCN
D-ライティング画像または美肌画像	FSCN

拡張子

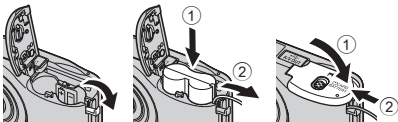
(ファイルの種類を示します)

静止画	.JPG
動画	.AVI

ファイル番号

(0001からの連番で付けられます)

別売アクセサリ

充電電池	<ul style="list-style-type: none">• Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2-B2 (2本入り) ※¹• Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2-B4 (4本入り) ※¹
充電器	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーチャージャー MH-72 (Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 2本付き) ※¹、²• バッテリーチャージャー MH-73 (Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 4本付き) ※¹、²
ACアダプター	ACアダプター EH-65A ※ ² ＜EH-65Aの取り付け方＞  <p>電池/SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードを電池室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。</p>
USBケーブル	USBケーブル UC-E16
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※¹ EN-MH2は、MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電電池を充電しないでください。

※² 日本国内専用電源コード (AC 100 V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

また、オンラインショップ (ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/> でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。

アクセサリの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。



付録、索引

取り扱い上のご注意	🔦:2
カメラについて.....	🔦:2
電池について.....	🔦:3
メモリーカードについて.....	🔦:5
お手入れ方法	🔦:6
クリーニングについて.....	🔦:6
保管について.....	🔦:7
故障かな?と思ったら	🔦:8
主な仕様	🔦:15
推奨 SD カード.....	🔦:18
索引	🔦:20
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	🔦:26
アフターサービスについて	🔦:27

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vii~x)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズフィルターに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で、故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが見えることもあります。

マルチ連写と動画以外の撮影では、記録画像にスミアの影響はありません。

マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□x~xiv)をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使わないでください。
- 残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、電源のON/OFFを何度も繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難場合があります。

● 充電について


別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影の前に充電してください。ご購入時にはフル充電されておりません。

バッテリーチャージャーに付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● リチャージャブルバッテリーの充電について

- ・型番の異なる電池、残量の異なる電池を混用しないでください。
- ・このカメラにEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-72で2本同時に充電してください。バッテリーチャージャー MH-73では、2本または4本同時に充電してください。MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。
- ・MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電電池を充電しないでください。

● Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1 とバッテリーチャージャー MH-70/71 をお使いの方へ

- ・このカメラはNi-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1も使えます。
- ・EN-MH1は、MH-70、MH-71以外の充電器では充電しないでください。
- ・MH-70、MH-71でEN-MH1以外の充電電池を充電しないでください。
- ・セットアップメニューの[電池設定] (□24、)74) は[COOLPIX (Ni-MH)] に設定してください。

● ニッケル水素充電電池について

- ・ニッケル水素充電電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（電池容量が一時的に低下したような特性を示す現象）で、[電池残量がありません]と早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ・ニッケル水素充電電池の残量は、お使いにならないときでも自然放電で減っていきます。お使いになる直前に充電するようおすすめします。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● 電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池でもカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を表示することがありますので、ご注意ください。

● リサイクルについて

使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。



メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- ・メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨SDカード→🔗18
- ・お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- ・SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・SDカードを入れたあとにカメラに【このカードは初期化されていません。初期化しますか？】の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、【いいえ】を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、【はい】を選んでⓂ️ボタンを押してください。
- ・初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。ブローアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ・ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいと感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none">画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。<ul style="list-style-type: none">記録中であったデータは保存されません。保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。	— 6、8、 🔋80
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none">オートパワーオフ機能が動きました。低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	11 🔋4 —
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていません。電池残量がありません。節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または ● (🎥 動画撮影) ボタンを押してください。フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。カメラとテレビがオーディオビデオケーブルで接続されています。	8 10 1、11 2、🔋13 26、29 26、🔋31

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー [モニター設定] の [画面の明るさ] で、液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。 	24、🔧63 🔧6
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 日時を設定していない(撮影時に📷が点滅している)場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2014/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	8、24、🔧61
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	24、🔧63
[デート写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	8、24、🔧61
[デート写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。 	🔧65
電源を入ると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	8、11
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
カメラから音がする	動画メニュー [AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	24、🔧59

撮影関連




こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	USBケーブルを外してください。	26、29、 🔌32
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、📷 ボタン、またはシャッターボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 電池残量がありません。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 	1、16 2 10 2、🔌13
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。らくらくオート撮影モード、シーンモードの [クローズアップ]、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 電源を入れ直してください。 	19、20、 🔌3、 🔌5、 🔌15 🔌21 24、🔌69 8
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 セットアップメニューの [手ブレ軽減] や [モーション検知] を使ってください。 撮影メニュー [連写] の BSS (ベストショットセクター) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	19、🔌11 24、🔌66、 🔌68 24、🔌6、 🔌47 19、🔌14
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスマアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	🔌47、 🔌3

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを④（発光禁止）にしてください。	19、📷12
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュモードが⑤（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニューで「目つぶり軽減」が「ON」になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	19、📷11、📷12、📷17、24、📷50、📷19
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の場合、電子ズームは使えません。 <ul style="list-style-type: none"> - シーンモードが「ポートレート」、[夜景ポートレート] または「ペット」のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー「連写」が「マルチ連写」のとき 	20、📷4、20、📷8、24、📷47
[画像モード] が選べない	[画像モード] が制限される他の機能が設定されています。	📷19
シャッター音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー「操作音」の「シャッター音」が「OFF」になっています。「ON」にしている場合、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。 	24、📷69、2
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー「AF補助光」が「OFF」になっています。「オート」に設定している場合、シーンモードによっては点灯しない場合があります。	24、📷69
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	📷6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	24、📷5、📷45

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。フラッシュを使ってください。	19、📷11
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが📷 (発光禁止) になっています。 フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを📷 (強制発光) にしてください。 	19、📷11、📷17 12 📷16 19、📷16 19、20、📷6、📷11
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	19、📷16
赤目以外の部分が補正された	📷 (赤目軽減自動発光) や、らくらくオート撮影モード、シーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減スローシクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート] 以外のシーンモードがオート撮影モードで、フラッシュモードを📷 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	19、20、📷5、📷11
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [メイクアップ効果] の [美肌] をお試しください。 	📷21 24、📷27
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを📷 (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき 美肌機能で撮影したとき 	— 19、📷13 📷21

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 内蔵メモリー /SD カードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	🔑25 — — —
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は、回転できません。	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [ビデオ出力] が正しく設定されていません。 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。 	24、🔑71 6
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。 	8 10 26、29 — 31

こんなときは	考えられる原因や対処法	
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。 	6 7
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	26、  34、  35 -

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX L30

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	2005万画素
撮像素子	1/2.3型 原色CCD、総画素数2048万画素
レンズ	光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.6-23.0 mm (35mm判換算26-130 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.2-6.5
レンズ構成	5群6枚
電子ズーム倍率	最大4倍 (35mm判換算で約 520 mm相当の撮影画角)
ブレ軽減機能	手ブレ軽減 (静止画)、モーション検知 (静止画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~ ∞ (広角側)、約 80 cm ~ ∞ (望遠側)・ マクロモード時は先端レンズ面中央から約 10 cm (△ マークから広角側) ~ ∞
AFエリア	中央、顔認識
画像モニター	3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約 23万ドット、輝度調節機能付き (5段階)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約98% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約98% (対実画面)
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー (約 25 MB)、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
ファイル形式	静止画 : JPEG 動画 : AVI (Motion-JPEG 準拠)

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none">• 20M (高画質) [5152 × 3864★]• 20M [5152 × 3864]• 10M [3648 × 2736]• 4M [2272 × 1704]• 2M [1600 × 1200]• VGA [640 × 480]• 16:9 [5120 × 2880]
ISO感度 (標準出力感度)	ISO 80～1600
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッター スピード	<ul style="list-style-type: none">• 1/2000～1秒• 4秒（シーンモードの [打ち上げ花火]）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（-2.6 AV）選択方式
制御段数	2 (f/3.2、f/8 [広角側])
セルフタイマー	約 10秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定 オート時)	約 0.5～4.3 m (広角側) 約 0.8～2.1 m (望遠側)
調光方式	モニター発光による TTL 自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	オーディオビデオ (AV) 出力/デジタル端子 (USB)
表示言語	日本語、英語

電源	<ul style="list-style-type: none"> アルカリ単3形電池、リチウム単3形電池のいずれかを各2本 リチャージャブルバッテリー EN-MH2(ニッケル水素充電電池)×2本(別売) ACアダプター EH-65A(別売)
電池寿命 ^{※1}	
静止画撮影時	<ul style="list-style-type: none"> 約320コマ(アルカリ電池使用時) 約950コマ(リチウム電池使用時) 約570コマ(EN-MH2使用時)
動画撮影時(実撮影電池寿命) ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> 約1時間5分(アルカリ電池使用時) 約2時間45分(リチウム電池使用時) 約1時間40分(EN-MH2使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約95.4×60.3×29.0 mm (突起部除く)
質量	約164 g (電池、SDメモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下(結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による温度条件23℃(±3℃)で、新品のアルカリ単3形電池使用時のものです。

※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。付属の電池はお試し用の電池です。リチウム電池の数値は、市販の「エナジャイザー リチウム乾電池(単3形)」使用時の値です。

※2 動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ2GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

☑ 説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※ ²	SDXCメモリーカード※ ³
SanDisk	2 GB※ ¹	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	—	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※ ¹	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	—	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

- ※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。
 - ※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。
 - ※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。



商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacおよびOS Xは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数字

T 望遠ズーム	14
W 広角ズーム	14
Q 拡大表示	16、
サムネイル表示	16、
らくらくオート撮影モード	20、
シーンモード	20、
ベストフェイスモード	20、
オート撮影モード	20、
再生モード	16
セットアップメニュー	24、
決定ボタン	2
撮影モードボタン	2
動画撮影ボタン	2
再生ボタン	2、16
削除ボタン	2、17
MENU メニューボタン	2、24
フラッシュモード	19、
セルフタイマー	19、
マクロモード	19、
露出補正	19、
ヘルプ	
1 コマ表示	16
AC アダプター	
AF エリア	13
AF 表示	4
AF 補助光	1、
AF モード	
AV ケーブル	27、
BSS	

DPOF プリント	
D- ライティング	
EN-MH1	
EN-MH2	
Eye-Fi 送信機能	
Nikon Transfer 2	30
PictBridge	27、
SD カード	6、
SD カードスロット	6
SD カードの初期化	7、
USB/ オーディオビデオ出力端子	2、26、29、
USB ケーブル	26、29、
ViewNX 2	28

































































ア


赤目軽減自動発光	
打ち上げ花火	
笑顔自動シャッター	
液晶モニター	2、3、
オーディオビデオケーブル	27、
オート撮影モード	20、
オートパワーオフ	11、
オートフォーカス	
オープニング画面	
音声入力 / 映像入力端子	27、
音量	

カ





カードの初期化	7、
---------	----

顔認識撮影.....	🔍20	シャッタースピード.....	14
拡大表示.....	16、🔍23	シャッターボタン.....	1、13
拡張子.....	🔍79	充電器.....	🔍80
画像回転.....	🔍56	充電池.....	🔍80
画像コピー.....	🔍57	常時 AF.....	🔍59
画像モード.....	🔍43	初期化.....	7、🔍71
画面の明るさ.....	🔍63	シングル AF.....	🔍59
カレンダー表示.....	🔍24	ズーム.....	14
逆光 	🔍4、🔍6	ズームレバー.....	1、14
強制発光.....	🔍12	ストラップ.....	iii
記録可能コマ数.....	10、🔍44	ストラップ取り付け部.....	1
記録可能時間.....	22、🔍38	スピーカー.....	2
クローズアップ 	🔍4、🔍5	スポーツ 	🔍4、🔍5
言語 /Language.....	🔍71	スモールピクチャー.....	🔍29
広角ズーム.....	14	スライドショー.....	🔍53
光学ズーム.....	14	スリープモード.....	🔍70
サ		スローシンクロ.....	🔍12
再生.....	16、🔍40	接写.....	🔍15
再生ボタン.....	2、16	設定音.....	🔍69
再生メニュー.....	24、🔍51	設定クリア.....	🔍74
再生モード.....	16	セットアップメニュー.....	24、🔍60
削除.....	17	セルフタイマー.....	19、🔍14
撮影.....	12	セルフタイマーランブ.....	1、🔍14
撮影メニュー.....	24、🔍42、🔍43	操作音.....	🔍69
撮影モードボタン.....	2	タ	
サマータイム.....	9、🔍62	タイムゾーン.....	9、🔍61
サムネイル表示.....	16、🔍24	ダイレクトプリント.....	27、🔍32
三脚ネジ穴.....	2、🔍17	端子カバー.....	2
シーンモード.....	20、🔍4	単写.....	🔍47
時差.....	🔍61	地域と日時.....	8、🔍61
自動発光.....	🔍12	デート写し込み.....	🔍65
絞り値.....	14	手ブレ軽減.....	🔍66
シャッター音.....	🔍69	テレビ.....	27、🔍31


電源	8	ピント	13、  20
電源スイッチ / 電源ランプ	1、8	ファイル名	 79
電子ズーム	14	風景 	 4
電池	6、11	フォーカスロック撮影	 22
電池 / SD カードカバー	2、6	フォーマット	 71
電池残量	10	フラッシュ	1、  11
電池設定	 74	フラッシュモード	19、  11
動画再生	22、  40	フラッシュランブ	2、  13
動画撮影	22、  38	プリセットマニュアル	 46
動画撮影ボタン	2	プリンター	27、  32
動画設定	 58	プリント	27、  33、  35、  51
動画メニュー	24、  58	プリント指定	 51
トリミング	 23、  30	プロテクト設定	 54
トワイライト 	 4	ベストショットセレクトター	 6、  47
ナ		ベストフェイスメニュー	 42、  49
内蔵メモリー	7	ベストフェイスモード	20、  8
内蔵メモリーの初期化	 71	別売アクセサリ	 80
夏時間	9、  62	ペット 	 4、  7
日時の設定	8、  61	ペット自動シャッター	 7
ハ		ヘルプ	 4
バージョン情報	 75	望遠ズーム	14
パーティー 	 4、  5	ポートレート 	 4
パソコン	27、29	ホワイトバランス	 45
発光禁止	 12	マ	
半押し	14	マイク	1
ビーチ 	 4	マクロモード	19、  15
ピクチャーカラー	 48	マルチセレクトター	2
日付の写し込み	 65	マルチ連写	 47
日付の表示順	9、  61	ミュージアム 	 4、  6
日付のプリント	 52	メイクアップ効果	 27
ビデオ出力	 71	目つぶり軽減	 50
美肌効果	 49	目つぶり検出設定	 72
		メモリーの初期化	 71

モーション検知	📷68
モニター設定.....	📷63
モニター表示設定.....	📷63
モノクロコピー 	📷4、📷6

ヤ

夜景 	📷4
夜景ポートレート 	📷4、📷5
夕焼け 	📷4
雪 	📷4
用紙設定.....	📷34、📷35

ラ

らくらくオート撮影モード	20、📷3
料理 	📷4、📷5
連写	📷47
レンズ	1、📷15
レンズバリアー	1
露出補正	19、📷16



A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ


ショールーム、サービスセンター、ニコンサロンを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を駆け、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座 〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階
営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ新宿 〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿工ルタワー 28階
営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ大阪 〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー13階
営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）

 ニコンプラザショールーム（ナビダイヤル）
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター（ナビダイヤル）
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター 〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

名古屋サービスセンター 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビル6階

福岡サービスセンター 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

（各サービスセンター共通）

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日）

（ナビダイヤル）
0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- ・ 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- ・ 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- ・ お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ・ ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ・ ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ・ ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- ・ 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- ・ 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

※ 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

振替 OK

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
ファクシミリのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱えない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00 (年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

23-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

※ 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

振替 OK

営業時間：9:30～18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング / サポートページ>

● <http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報をご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

● <http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積り金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などをご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**